

令和6年度 第一回神奈川県立鎌倉高等学校 学校運営協議会 議事録

日時 令和6年5月24日(金) 14:30~16:20

場所 鎌倉高等学校 大会議室

出席者(敬称略)

(委員) 田邊克彦、永野征男、牛見誠人、菅野喜八、渡辺晃、瀧澤博、末次健治、
岡田雅彦

(事務局) 佐藤文美、椿みどり、長谷川千栄子、中田修、石川比呂子、永山悦子、千葉大介、
良田直優、佐藤靖彦、稲葉啓太、喜納悠大

(欠席者) 青木弘、齋藤貴、佐藤弘一

議事録(●は発言要旨)

【1. 校長挨拶】

- 皆様から学校運営について率直なご意見をいただく場である。ぜひいろいろなご意見をいただきたい。それを学校教育に生かしていければと思う。

【2. 学校運営協議会の開催にあたって】

(1) 委員の委嘱について

校長より委嘱した。

(2) 学校運営協議会委員及び事務局員紹介

○田邊委員：

- 鎌倉高校の任期3年目となる。鎌倉高校の生徒の成長を楽しみにしている。

○永野委員：

- 鎌倉市まちづくり審議会委員と兼ねている。市長のもとに少しでも鎌倉高校の実情をフィードバックしたい。

○牛見委員：

- 腰越中学校の生徒が鎌倉高校でお世話になっている。校長室から鎌倉高校が見えるので、生徒たちの成長をいつも気にしている。

○菅野委員：

- 七里ガ浜自治会住環境専門委員をしていて、少しでも生徒たちの登下校の安心安全に関われればと思う。

○瀧澤委員：

- 地域のつながり課長を担っている。鎌倉高校と地域について考えていきたい。

○末次委員：

- 災害対策として鎌倉高校と防災対策などで関わっていきたい。

○渡辺委員：

- 先日アメリカンフットボール部の大会進出ということで、支援をさせていただいた。今年度も 200 万円程度、学校への支援ができればと考えている。
- 同窓会総会について、毎年参加者が少ないので、鎌高祭の日に合わせて同窓会を開催したいと考えている。

(3)学校運営協議会について

- 『神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則』および『神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱』に沿って本校の学校運営協議会は設置されている。第一回の協議会もこの規則に沿って進めさせていただく。

(4)会長及び副会長の選出

牛見委員が会長に田邊委員を推薦。拍手をもって承認。

田邊委員が副会長に青木委員を推薦。拍手をもって承認。

【3. 協議】

(1) 学校運営協議会の組織について

○岡田委員：

- 『神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱』の第 10 条について、学校評価部会を設置し、11 名の委員の皆様には学校評価部会の委員をお願いしたい。

○田邊会長：

- 一同異論なしのため、学校運営協議会委員 11 名全員が学校評価部会の委員として承認。

○岡田委員：

- 本校は学力向上進学重点校エントリー校であることを踏まえて、学校設置部会としてキャリア部会を設置したい。

(一同拍手により承認)

- キャリア部会委員として田邊委員、青木委員、牛見委員、佐藤委員、学校担当者として佐藤副校長、長谷川教頭、伊藤総括教諭、石川総括教諭、千葉総括教諭、佐藤総括教諭、永山総括教諭、良田総括教諭をお願いしたい。

○田邊会長：

- キャリア部会の委員として 12 名を指名する。

(一同拍手により承認)

ア 学校教育計画に関すること

○岡田委員：

- 3つの期に分けられた県立高校改革実施計画においては、最後の3期目にあたる。3期目にあたる計画をこちらに示している。
- この学校に与えられたミッションなどを踏まえて学校教育目標を設定している。
- 鎌倉高校はSSHという国の事業の指定を目指しており、文理融合や総合知の育成を目指している。それに向けた探究活動の充実のため、外部機関との連携や体験などの導入を検討し、また鎌倉の課題意識について把握したく、鎌倉市役所における地域のつながり課の方をお願いをしているところである。
- 理系やグローバル教育に特化することだけではなく、総合知を備えた生徒を育てているところである。
スクールポリシーについての説明。
アドミッションポリシーの説明。
- 学校評価の目標設定は、5つの視点に基づいて学校教育目標を作成しているところである。
- 生徒指導・支援について、スクールカウンセラーが週に1回来校する県の制度を活かして生徒をサポートしていきたいと考えている。
- 職員の働き方改革については、管理職を中心に動いているが、現在は道半ばのところである。
- 防災については、消防署と連携を取りながら進めていくことを、昨年度同様、予定している。

○田邊会長：

- 学校教育目標などについてご意見ご質問はあるか。

特になし。

イ 教育課程の編成に関すること

○教務グループ：

- 教育課程や学習指導というところが、教務グループが主に関わっているところである。
- 先ほど岡田委員から文理融合というお話があったが、教務グループは、これに沿って教育課程を作成している。
- 教科横断的な授業を目指しているところであるが、まず、教員同士が相互に授業を見学することによって自分の授業を顧みたり、他の教科の内容を自分の授業に取り入れたりするというところを行っていく予定である。

- 今年度は授業見学の期間を延ばして、教員が他教科の授業を見ることができる機会を増やしていく予定である。授業の展開や話題の提供など、他教科の授業を見学することは教員の力になると考えている。

○田邊会長：

- 他教科を積極的に見るというのは全体の計画を立てないと難しいのではないか。

○教務グループ：

- 見学実施の期間を長くすることで機会を増やすという考えである。

ウ 学校組織の編成に関すること

○岡田委員：

- 本校では6つのグループで業務を行っている。それぞれを所管する総括教諭は6人となった。なお、今年度の教員配置については、新採用の教諭が4人いる。

○田邊会長：

- 昨年度は5名だった総括教諭が今年度から6名となったのは組織的な配置を変えたのか。

○岡田委員：

- 今年度は6名の人員配置があった。なお、総括教諭が不足している学校もあり、そうした場合総括教諭の配置と業務の持ち方を工夫することもある。

エ 学校予算の執行に関すること

○事務長：

- 昨年度は老朽化備品の更新ということで下駄箱や生徒会館の防水工事、アスファルト塗装工事、体育館の渡り廊下の改修を行った。
- 今年度はバスケットゴールの更新、体育館の床修理を行う予定である。
- 格技場の耐震工事の時期が延びてしまったが、6月に行う予定である。
- プールの改修工事の予算がついたので10月に行う予定である。
- 計画的な修繕を行っていなかったため、安全を確保しながら、随時、修繕工事を行っているところである。

○渡辺委員：

- 4年後の100周年事業に向けて、こういうことをやってほしいというリクエストは学校側としてあるか。それがあれば卒業生に呼びかけがしやすい。

○田邊会長：

- 100周年事業が4年後ということはそろそろ実行委員会を準備しているのか。

○岡田委員：

- 修繕等の経費について、今年度から特に配慮され措置されているが、どういう形で示されるかわからないので、学校内で修繕や更新の必要があるところをあらかじめリスト化するなどして整理する。
- 100周年事業に関しては、他校の周年事業を参考にしながら、秋以降にはある程度形にして具体的な案を皆様にお示ししたい。

○田邊会長：

- 周年事業計画の予算についての準備はあるか。

○渡辺委員：

- 同窓会では数年前から積み立てを行っている。以前も「80周年特別記念金」という形で、同窓会で集金を行い、お礼の品を送っている。

○田邊会長：

- 今の話を踏まえると、今年度中に動き出さなければ間に合わない可能性が高いと考える。そのような認識を職員間で共有してほしい。

○瀧澤委員：

- 予算について、通常、行政では前年度中に次年度の予算申請を行う。鎌倉高校は現在、修繕計画等がないということだったが、県の担当課とも連携を取って、早めに現状を知ってもらい、予算を挙げるといいのではないか。

○事務長：

- 県の担当課の方には何度も学校に来ていただいている。今回予算がついたのは実際に見ていただいたからという事情があると思う。
- 入札は技術的に学校では無理なので、入札の必要がない250万円以内の予算での修繕となっている。どうしても計画的にいかないところもある。

○岡田委員：

- 神奈川県には高校が約140校あるが、校舎の寿命が70年とすると1年間に2校ずつ修繕をしていかないと耐震工事に間に合わないということになる。順番に行っているのだと考えている。

○田邊会長：

- これまでの質疑を踏まえて、これまでの内容についてご承認いただけますでしょうか。

(一同拍手により承認)

(3) 神奈川県立鎌倉高等学校の教育活動について

○教務グループ：

- 教務グループは授業関係、時間割作成や教科書関係、成績処理を行っている。また、学校の記録、指導要録の作成、教務日誌の作成、学籍等に関するアンケート集計、

生徒による授業評価のまとめ、年間指導計画の取りまとめ、高校入試関係に関しては教務グループが主体となっている。今年の入試から PC を使う部分が大幅に増えた。

- ICT 情報システムなどの成績処理も教務グループが管理している。データの更新や PC の管理も行っている。
- 調査書や指導要録も電子化されると聞いている。県立学校はみな同じシステムを使っている。

○田邊会長：

- 入試に関して校内で問題はあったか。

○教務グループ：

- 事故はなかった。県全体で Web による出願システムを導入したので、中学生やその保護者にはご不便をおかけすることはあったかもしれない。

○学習企画グループ：

- 学習企画グループは SSH の申請や県の指定校事業の対応、授業改善、学校運営協議会の資料のとりまとめ、総合的な探究の時間の運営、グローバル教育の推進を行っている。
- 今年度は SSH の申請を行う。3年間の積み重ねの中から文理融合をキーワードに、国に申請する文章の作成を行い、申請を行う。
- 今年度から理数探究基礎で鎌倉市と連携したり、2年生の研究をアップデートしたり、公開研究授業でクリティカルシンキングを軸とした文理融合型の授業を実施したりしている。
- 1年生を対象にした理数教育講演会を行い、6月には2年生を対象としたサイエンスカフェを行う予定である。サイエンスカフェでは様々な機関から講師をお呼びして体験型の授業を行っていただく予定である。

○田邊会長：

- これまでの SSH 申請とは何が違うのか。

○学習企画グループ：

- 今年度から SSH の枠に文理融合基礎枠というのが設置された。本校の特性を踏まえて、文理の枠にとらわれない教育課程を検討している。
- 文理融合枠の設置は、JST などが理系の知見だけではなく、文系の知見も必要であると考えているからなのではないかと考える。

○田邊会長：

- ぜひ申請が通るように努力していただきたい。

○岡田委員：

- 学習企画グループの国際交流について、鎌倉市とナッシュビル市の姉妹都市交流の一環として、ナッシュビル市の視察団が鎌倉高校に来校する予定である。

○生徒指導グループ：

- 生活指導グループでは、マナー等の生徒指導、心と体への生徒指導を2本柱と考えて指導している。
- 江ノ電乗車や地域の道の歩き方などのマナーを指導している。
- 観光客が増えたということで、トラブルが起きないか危惧している。
- SNS関連のトラブルは本校でも多少ある。肖像権の問題などについて、生徒が深く考えないことによる事例もあった。
- 保健及び教育相談について、精神的に不安定になる時期の生徒の中には、頑張り屋であるがゆえに、燃え尽きてしまうという生徒がいる。
- 教育相談件数は増えている。昨年度からスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの来校が週1回となった。ヤングケアラーや自死といった案件が増加しており、かながわ子どもサポートドックが実施され、質問にスマートフォンから回答することで、気に掛ける生徒をスクリーニングできるようになった。

○渡辺委員：

- 奨学金関連について、困っている生徒が多数いるか？

○生活指導グループ：

- 本校は困窮している生徒は少ない印象であるが、JASSOの大学予約奨学金の説明会には100名近く参加した。情報発信は重要であるので、引き続き行っていきたい。

○渡辺委員：

- 奨学金に関連して、教育資金の援助については同窓会からも援助したいと考えている。実現できるかは不明であるが、できる限り支援の方法を模索したい。

○生活指導グループ：

- 本校の生徒は教育資金のためにアルバイトに専念したいというよりは、勉強とアルバイトのどちらも頑張りたいという生徒が多い。もし可能であるならば、そのような生徒のためにも利用させていただきたい。

○田邊会長：

- 奨学金が必要な生徒の実態把握はしているのか。

○生活指導グループ：

- 生徒の家庭環境を見て、声掛けをしていることはある。

○田邊会長：

- ヤングケアラーの実態は本校でもあるか。

○生活指導グループ：

- 少数ではあるが、そのようなバックグラウンドのある生徒も在籍している。

○田邊会長：

- 本校ではどのくらい不登校はいるか。

○生活指導グループ：

- 感染症による出席停止や家庭のストレスで休みがちな生徒もいる。ただ、これらが完全に不登校の定義に当てはまるかという線引きは難しいところである。

○キャリア支援グループ：

- グループは大学入学、指定校推薦、総合選抜業務、進学関係全般、生徒への受験の情報提供等を行っている。
- 推薦書の発行や将来のキャリアを展望するという意味で、インターンシップの窓口業務も行っている。
- 初任者の教員4名向けの研修会を行っている。職員を対象とした進路に関する研修会も、昨年度より回数を増やして実施する予定である。
- 保護者向け進路説明会にも受験に関する情報提供を行っている。
- 昨年度は国公立・難関大学の合格者が50名近くになり、大きく合格者数を伸ばしたところである。先生方のご指導のおかげであると考えている。

○田邊会長：

- 第一志望を貫くという指導は、今回の結果を見て効果があったと考えるか

○キャリア支援グループ：

- 効果はあったと考える。生徒の中には国公立大学入試で前期選抜だけでなく、後期選抜にチャレンジして第一志望に合格した生徒もいる。

○田邊会長：

- 嬉しい報告である。今後も継続できれば、学校全体の共有財産になると考える。ありがとうございます。

○永野委員：

- 神奈川県内の私立高校で海外大学進学の機運が高まっている。鎌倉高校の実績の中には海外大学への進学者もいるとあるが、どのような大学か。また、彼らは自分で調べて進学したのか。

○キャリア支援グループ：

- ここに記載のある2名とも正規の海外の大学への進学である。彼らは自分で海外の大学を調べて、自分で出願して受験した。

○永野委員：

- 海外大学進学者が増えると良い。

○キャリア支援グループ：

- 海外進学に関しては、学費もかかるので、一定以上のレベルの海外大学であれば、奨学金の案内もする。ただし、生徒の第一志望の実現を応援するという姿勢は国内も海外も変わらず行っているところである。

○管理グループ：

- 防災や DIG 訓練、私費会計、PTA 会費や図書費や教室環境の整備など、また、学校案内の発行や入学予定者への説明会などの他、PTA の各種委員会との連携や、同窓会のうしお会との連携、鎌ホームとの連携、ゴミの管理、職員向けの AED 研修、全公立展への参加、学校説明会の開催などを行っている。

○田邊会長：

- 売店との連携では何か新しいことをしようとしているか。

○管理グループ：

- 特になし。生徒に馴染みの売店である。

○生徒会グループ：

- 生徒会グループでは生徒会執行部の運営指導、学校行事の運営、鎌高祭、スポーツ大会、合唱コンクール、球技大会などの業務を行っている。
- アメリカンフットボール部の関東大会出場の激励会では、うしお会様にもご参列いただき、激励を行った。

○渡辺委員：

- 生徒会の予算では購入できない金額の大きいものはないか。吹奏楽部で楽器が欲しいなど。生徒会の予算では賄えないものはあるか。もし生徒からの要望の中で予算的に足りないというものがあれば、相談いただきたい。

○生徒会グループ：

- 実は部室の雨漏りがひどい。階段も錆びている。生徒の安全のためにも、支援いただければ嬉しい。

○渡辺委員：

- 部室を全部建て替えるというのは額が大きすぎるが、少しずつ修繕してもきりがないというところである。何かできないかと考えている。

○生徒会グループ：

- 範囲としては、県の予算になってくると思う。生徒の安全のために、ここは声を出していきたいと考える。

○田邊会長：

- 今の件については、校長はご存じか。

○岡田委員：

- 承知している。

○事務長：

- 県の担当課も調査に来ている。

○田邊会長：

- あとは予算の問題ということだ。

- 末次委員：
 - 防災訓練は毎年行うことが重要なので、毎年継続していただきたい。防災情報はたくさん出ている。正しく恐れることが重要である。生徒にはそれらの情報の見方を周知してほしい。
- 田邊会長：
 - 津波に関しては、鎌倉高校の安全性は高いか。
- 末次委員：
 - はい。ただ、駅まで行くと海拔が低いので気を付けてほしい。
 - 今度、鎌倉市において沿岸部一斉防災訓練がある。年間で防災放送が流れる唯一の機会である。休日ではあるが、ぜひそのサイレンを聞いて、どのように聞こえるかを学校でも確かめてほしい。
- 菅野委員：
 - 地域では防災については色々なマニュアルがあり、一律に対応を決めることは難しいと考えている。
- 岡田委員：
 - 鎌倉高校は避難場所の指定になっているが、防災訓練の際に地域の方にはどのように周知しているか。
- 末次委員：
 - 地域住民が校門に集合し、場所を確認している。
- 田邊会長：
 - 全体として質問はあるか。
- 渡辺委員：
 - 学習企画グループで取り扱っている理数教育講演会について、もしニーズがあれば、卒業生の中から講師を呼ぶこともできる。要望があったら言ってほしい。
- キャリア支援グループ：
 - 卒業生の中からキャリアワークブックに寄稿をいただいた。すでに卒業生の中でお力添えをいただいている方もいらっしゃる。ありがとうございます。
- 永野委員：
 - 外部業者の試験を導入するという課題があったが、参加率はどれくらいだったか。
- キャリア支援グループ：
 - 基本的には全員が参加するものとして実施している。
- 永野委員：
 - その外部業者が採点評価までを行っているのか。
- キャリア支援グループ：
 - その通りである。

- 永野委員：
 - この取組は始まったばかりか。
- キャリア支援グループ：
 - 定点観測として例年実施しているものである。授業でも教材として使用しているところである。
- 永野委員：
 - 外部業者に場所を貸している感覚か。
- キャリア支援グループ：
 - 監督も教員が行うので、そのような感覚とは異なる。
- 田邊会長：
 - ほかに何か質問はあるか。

特になし。

【4. 事務局から】

- 今年度は学校運営協議会を年2～3回程度実施を予定。
- 鎌高祭などの行事にも委員の皆様もお招きしたいと考えている。
- 次回の学校運営協議会は10月～11月を予定。生徒の活動の様子を視察できるような場を設定。
- 第3回は3月頃を予定。
- 次回以降の開催については皆様にお諮りして日程を調整したい。